

管理者コンソール > ユーザー管理 >

ディレクトリコネクターファイルストレージ

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/directory-sync-shared/>

ディレクトリコネクターファイルストレージ

デスクトップアプリとCLIはデータベースと設定を共有するため、1台のマシンでの同時使用は推奨されません。推奨される方法は、デスクトップアプリを使用して構成とテストを完了し、その後CLIを使用して本番組織への自動同期をスケジュールすることです。

Tip

ディレクトリコネクターの設定ファイルを条件付けする前に、デスクトップアプリまたはCLIを使用することをお勧めします。なぜなら、このファイルからディレクトリコネクターの全体を設定することは不可能だからです。認証の値、例えば鍵や秘密鍵は、デスクトップアプリまたはCLIから設定する必要があります。

設定ファイル

Directory Connector設定ファイル (`data.json`) には、以下のように直接編集できるオブジェクトが含まれています：

- ディレクトリへの接続を設定する
- 同期オプションの設定

`data.json`からDirectory Connector全体をセットアップすることはできません。キーやシークレットなどの認証値は、デスクトップアプリかCLIから設定する必要があります。

↓ type: asset-hyperlink id: 1Bkzdf50jZRPqOMRJ85FPi

Warning

Directory ConnectorデスクトップアプリケーションまたはCLI実行可能ファイルが実行中の際、`data.json`を開いたり変更したりしないでください。

所在地

`data.json`の場所は、使用されているプラットフォームによって異なる：

- Windows : `AppData%Bitwarden Directory Connector`
 - ポータブル: `.\bitwarden-connector-appdata`
- macOS: `~/Library/Application Support/Bitwarden Directory Connector`
- Linux: `~/.config/Bitwarden Directory Connector`

Tip

ディレクトリコネクターのCLIを使用して、データファイルコマンドを実行し、`データ.json`への絶対パスを見つけ出します。

秘密の倉庫

デフォルトでは、Directory ConnectorデスクトップアプリとCLIは、機密データ（ディレクトリアカウントパスワード、APIキーなど）を永続化するために安全な方法を使用します。

Linuxシステムでは、通常デスクトップ環境用に予約されているGNOMEキーリングとX11が必要である。ヘッドレスLinux環境を使用している場合、次のようなエラーに遭遇するかもしれない：

```
Bash
```

```
Cannot autolaunch D-Bus without X11 $DISPLAY
```

ヘッドレス環境における秘密の保管

セキュアなストレージ環境が利用できない場合、Directory Connector CLI を構成して秘密のプレーンテキストストレージを使用することができます。そのためには、例えば `sudo -H gedit /etc/environment` を実行して、セキュア・ストレージを上書きするように以下の環境変数を設定する：

```
Bash
```

```
BITWARDENCLI_CONNECTOR_PLAINTEXT_SECRETS=true
```

プレーンテキスト・ストレージを有効にすると、`data.json` 設定ファイルからすべての設定をプレーンテキストで直接設定できる。

Note

秘密情報のプレーンテキスト保存は、ディレクトリコネクタデスクトップアプリと互換性がありません。あなたは秘密のプレーンテキストストレージと一緒に、ディレクトリコネクタCLIのみを使用する必要があります。